

三つの異変との闘い

木谷正道さんが、去る3月に都庁を退職されました。木谷さんは、行政マンらしくない行政マンでした。その熱意溢れる取り組みが都庁内外に与えた影響は図り知れません。木谷さんが投げかけた問題意識は、本来行政がどうあるべきかを考えさせてくれました。私たちに夢と希望と勇気を与えてくれたといっても過言ではないでしょう。

当日は、木谷さんのギター弾き語り&村上秀男さん(都庁スィングビーツ)のピアノを交え、大地と環境と心の異変についてプレゼンテーションを行います。どうぞ、ご参加ください。

■■■弾き語り■■■

涙そうそう
シクラメンのかほり
すべての人の心に花を
島唄
さくら(独唱)
故郷 ほか

プロフィール
木谷正道 (まちの音楽家たち・平塚耐震補強推進協議会副会長)

1947年平塚に生まれ、今も在住。東京大学経済学部卒。1971年東京都入庁。企画調整局、経済企画庁、調査研究室長(自治体シンクタンクづくり)、新宿西清掃事務所長(早稲田のまちづくり)、産業政策担当部長(都民と創る産業振興ビジョン)、IT推進室長・情報企画担当部長(電子都庁、電子自治体共同運営、東京いのちのポータルサイト、ネット社会と子どもたち協議会)など。在職中は、インターネットを活用した民間からの政策形成とネットワークづくりなど行政改革に取組んできた。また平塚市民として防災、福祉など多方面で活躍。6年前から宅老所で弾き語りを行うほか、コンサート活動も開始。本年3月にフルマラソンを完走。

木谷正道 都庁退職記念企画 プレゼンテーション&ギター弾き語り

1 大地の異変・・・破局を回避しよう

全国の住宅4500万戸のうち1150万戸が耐震性に欠け、震度6強で倒壊する可能性が高い。被害軽減の切札・耐震補強はほとんど進んでいない。首都直下地震は切迫しており、このままでは破局的な事態が生じる。平塚での取組み(地域ぐるみの耐震補強、障害者との連携など)をふまえ、最新のプレゼンを行う。

2 環境の異変・・・息子の時代にこの世界を残せるか?

異常気象・地球温暖化が現実化し、人類文明が破綻する可能性が出てきた。経済・社会の根本的な立て直しが必要だが、「満足度が高く消費レベルの低い社会」が可能かどうか? 農と森林再生の動き、従業員満足度の高い職場、秦野の共生グループホームなど新たな取組みを報告する。

3 心の異変・・・支えあうつながりをつくる

平塚の宅老所ひなたほっこ、21世紀型寺子屋、ネット社会と子どもたちなどのプレゼン。かつてなく人間が傷み、心の異変が進行している。D・オスボーンは「地域が行政を所有する」仕組みを提唱した(行政革命)。官主導でも市場主導でもなく、地域が主導する社会の可能性。一人の力は小さいけれど、やっぱり一人が大事です。無力感に陥らず、ごいっしょに、元気に楽しく生きましょ。

5月11日(金) 18:45~20:45 / **牛込筆筈区民ホール(03-3260-3421)**
会費:500円 都営大江戸線牛込神楽坂駅 A 1 出口徒歩 0 分。
東京メトロ東西線神楽坂駅 2 番出口徒歩 10 分

【主催】 実行委員会 世話人:渡部陽子(ひさし総合教育研究所長、ネット社会と子どもたち協議会運営委員長)

【申込】 本企画は、都庁はじめ全国の自治体関係者、様々なNPO、その他木谷さんに関連するネットワークに広く参加を呼びかけています。お申込みは、各ネットワークごとに取りまとめをお願いしている方まで。

直接には、info@kokorono-uta.net <http://kokorono-uta.net> Fax.020-4623-6941 Tel.090-9801-3140 へ

※終了後に交流会を予定しています。参加ご希望の方は、あわせてお申し込みください。